

県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力のお願い ～

平成28年熊本地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。熊本県では、昨年8月に「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」、同12月に「熊本復旧・復興4カ年戦略」を策定し、熊本地震からの復旧・復興に取り組んでおります。

県政の取組みを進めていくにあたり、県民の皆様のご意見を反映させるため、県民アンケート調査を実施させていただきます。

この調査は、熊本地震の影響をはじめ、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様が感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査対象者の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、1,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

ふるさと熊本の復旧・復興と更なる発展に向け、皆様のご協力をよろしくお願ひします。



©2010 熊本県くまモン

平成29年1月

熊本県知事 蒲島 郁夫

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**が記入いただくようお願いいたします。（ご本人でのご記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。）
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。（回答していないところがあっても、そのまま返送してください。）
- 記入が終わったら、調査票を二つ折りにして、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **平成29年1月24日（火）までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計、分析するため、回答者個人が特定されることはありません。

■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：前広^{まえひろ}、藤本^{ふじもと}

電話 096-333-2018（直通）

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

熊本地震や防災について

問1 あなたは、お住まいの地域の中で、市町村が定めている災害時の避難場所がどこにあるか知っていますか。（1つだけ○）

1. 知っている
2. 知らない

問2 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※9以外は複数選択可)

1. 住宅の耐震化
2. 家具等の固定
3. 非常時のための水・食料等の備蓄
4. 地域の危険箇所の確認
5. 自主防災組織などが行う訓練への参加
6. 県・市町村等のホームページや防災メールでの気象情報などの収集
7. 早めの自主避難（予防的避難）
8. その他（）
9. 何もしていない

問3 あなたは、これまで自治会の中の防災活動など、自主防災組織が行う防災訓練などに参加したことがありますか。（1つだけ○）

1. 自主防災組織の活動に参加したことがある
2. 自主防災組織はあるが、活動には参加したことはない
3. 自主防災組織がない
4. 自主防災組織があるのか知らない

問4 ご自宅の耐震化についてお尋ねします。あなたのご自宅の形式を教えてください。
(1つだけ○)

1. 木造の戸建住宅（自己・家族所有）
 2. 木造以外の戸建住宅（自己・家族所有）
 3. 共同住宅（自己・家族所有）
- } 問5にお進みください
4. 自宅は、自己・家族所有ではない → 問7にお進みください

※この問いは、問4で、選択肢1・2・3のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問5 あなたは、ご自宅の耐震化を行っていますか。(1つだけ○)

1. 耐震診断を行って、結果を受けて考える
 2. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい
 3. 耐震化工事を行っている（行う予定）
 4. 耐震化工事を実施済み
- } 問7にお進みください
5. 耐震診断を行うが、耐震化工事を実施する予定はない
 6. 耐震診断、耐震化工事ともに行う予定はない
- } 問6にお進みください

※この問いは、問5で、選択肢5・6のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問6 ご自宅の耐震化工事を行わない理由を教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
3. 建替え予定のため
4. 耐震化工事を行う費用がないため
5. 耐震性能が十分であり、耐震化は不要であるため
6. その他（)

※すべての方にお尋ねします。

問7 あなたは、震災時に、どのようにして受診可能な医療機関の情報収集を行いましたか。
(あてはまるもの全てに○ ※6以外は複数選択可)

1. 医療機関へ直接問い合わせた
2. 行政機関（県や市町村など）に問い合わせた
3. 県医師会や医療機関のホームページで確認した
4. フェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を用いて情報収集を行った
5. その他（)
6. 情報収集は行わなかった

問8 あなたが今後取得したい防災に関する知識は何ですか。
(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路について
2. 個人でできる災害に対する備え（自助）
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み（共助）
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 生活再建等に向けた支援制度
8. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
9. ハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）の情報
10. 地震に関する情報（断層の場所や発生確率等）
11. その他（)
12. 特にない

問9 あなたは、震災の教訓を後世に伝えるために、どのようなことが必要と思いますか。
(あてはまるもの全てに○ ※9以外は複数選択可)

1. 記録となる文書・写真・映像を保存する
2. 被災地が復興していく様子を記録する
3. 子どもへの防災教育を実施する
4. 被災した体験を語る
5. 被災地の復興を祈念するモニュメントを設置する
6. 被災した構造物や断層等を震災遺構として保存する
7. 発災直後の様子をバーチャル映像により再現する
8. その他 ()
9. 後世に伝える必要はない

問10 震災後、あなたに変化のあったこと(価値観、災害に対する心構え、地域とのつながりなど)をご記入ください。(自由記述)

※この問いは、熊本地震により、避難生活を送られた方のみにお尋ねします。

問11 あなたが避難生活を送る中で、役に立ったもの(こと)をご記入ください。
(自由記述)

救急医療について

問 1 2 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか。
(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

高齢者の福祉・介護について

問 1 3 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。 (2つ以内で○)

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護（成年後見制度の利用促進、虐待防止等）
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他（)

障がい者施策について

問 1 4 平成24年4月から「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」が全面施行されました。あなたは、この条例を知っていますか。 (1つだけ○)

1. よく知っている
2. 名前だけは知っている
3. 全く知らない

結婚・少子化について

問15 現在、我が国では少子化が進んでいますが、その原因の一つとして、結婚していない人の割合が増加していることが指摘されています。

あなたは、結婚を希望している人が結婚できるように、職場や地域、行政などみんなで応援している社会環境にあると感じますか。 (1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

妊娠・出産について

問16 あなたは、県民が安心して妊娠・出産ができる環境にあると感じますか。
(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

子育て・家庭教育について

問17 あなたは、お住まいの地域の子どもたち（高校生以下とします）が心豊かに育っていると思いますか。 (1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

※この問いは、現在、中学生以下のお子様がいらっしゃる方のみにお尋ねします。

問18 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか、辛いと感じることが多いですか。（1つだけ○）

1. 楽しいと感じることが多い
2. どちらかといえば、楽しいと感じることが多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある
4. 辛いと感じることが多い
5. わからない

問19 「くまもと家庭教育支援条例」に基づき、「親の学び」講座の開催やくまもと家庭教育10か条の周知に取り組んでいます。あなたは、この条例を知っていますか。（1つだけ○）

1. よく知っている
2. 名前は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

健康について

問20 あなたは、日頃、健康の維持・増進のために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※11以外は複数選択可)

1. 定期的に（最低年1回）健康診断を受けている（2の歯科検診を除く）
2. 定期的に（最低年1回）歯科検診を受けている
3. 歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）を使用して、歯をみがいている
4. 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを考えて食べている
5. 睡眠や休養を十分とるようにしている
6. アルコールは、飲みすぎないように適量を心がけている
7. たばこを吸わない、または控えている
8. ウォーキングなどの運動をしている
9. 自分の適正な体重を知り、その体重を維持したり、近づけるよう心がけている
10. その他（）
11. 何もしていない

問 2 1 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。
(1つだけ○)

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

ボランティア活動について

問 2 2 あなたは、過去1年間に、ボランティア活動（職業として行うものは除く）に参加したことがありますか。また、それは次のどの分野ですか。
(あてはまるもの全てに○ ※8以外は複数選択可)

1. 地域安全・災害救援分野
2. 保健・医療・福祉分野
3. 子どもの健全育成、教育分野
4. 環境保全分野
5. 文化・スポーツ・芸術分野
6. 地域づくり分野
7. その他 ()
8. 参加していない

地下水について

問 2 3 あなたは、化学肥料を減らした土づくりや水田の働きなど農業によって、地下水が守られていることを知っていますか。 (1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問24 あなたは、日頃から地下水を守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※6以外は複数選択可)

1. 家庭での節水を心がけている
2. 雨水浸透ますを設置したり、庭を緑地化するなど、雨水が地下にしみ込みやすくしている
3. 地下水を育む農畜産物（グリーン農業マークの付いた農産物やえこめ牛など）を購入している
4. 台所の油汚れを古い布で拭き取るなど、汚水を流さないように努めている
5. その他（ ）
6. 何もしていない

ハンセン病問題について

問25 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問26 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。 (1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

男女共同参画について

問27 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。 (1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

農林水産業について

問28 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」^{ちさんちしょう}に関心がありますか。また、県内でできた農林水産物（または加工品）を購入（またはレストランなどで注文）していますか。（1つだけ○）

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

食の安全安心について

問29 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。（1つだけ○）

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

県政に対するご意見

県政全般について、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

